**第２学年国語科学習指導案**　　　　　２年２組　３３名　　授業者

研究主題

意欲的に学び、よく考え表現する子供の育成

*～書く力を育てる指導を通して～*

低学年の目指す児童像

**楽しく考え表現する子**

*自分の考えを自分なりの方法で楽しく表現することができる児童*

１　単元名　　　「分かりやすくせつめいしよう」

２　単元の目標

◎説明の順番を考え、言葉のまとまりに気をつけながら文章を書くことができる。

〇おもちゃを作るのに必要な事柄を集め、内容のまとまりに気を付けて、書くことができる。

３　観点別評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 国語への関心・意欲・態度 | 書くこと | 言語についての知識・理解・技能 |
| 学習したことを生かし、分かりやすくおもちゃの作り方を説明する文を書こうとしている。 | ・おもちゃの作り方の説明書を書くために、必要となる事柄を集めている。・内容のまとまりを考え、手順に沿って書いている。・絵と対応させながら、文のつながりを意識して書いている。・書いた説明書を読み返し、間違いなどを正している。 | まとまりを意識して、順序を表す言葉を用いている。 |

４　指導計画

|  |
| --- |
| 課題設定　第１時〇「おもちゃの作り方」を読み、「１年生にわかりやすい説明書を書こう」という学習課題を立て、学習の見通しをもつ。〇前単元で学んだ説明の仕方を使って、書く活動の見通しをもつ。 |

|  |
| --- |
| 取材・構成　第２時〇生活科で作った「傘袋ロケット」の作り方を思い出し、集材メモを作る。〇絵と照応して、作り方の順序を考える。 |

|  |
| --- |
| 取材・構成　第６時〇生活科で作った「紹介したいおもちゃ」の集材メモを作る。〇絵や写真と照応して、全体の構成・作り方の順序を考える。 |

|  |
| --- |
| 記述　第３～４時（本時）〇話のまとまりや作り方の順序を考えて、説明書を書く。 |

|  |
| --- |
| 記述　第７時～８時〇話のまとまりや作り方の順序を考えて、説明書を書く。 |

|  |
| --- |
| 推敲　第５時〇文章を読み返し、間違いを正したり、よりわかりやすい工夫を付け足すことができる。 |

|  |
| --- |
| 推敲　第９時〇書いた説明書を読み返し、間違いや分かりやすさに気を付けて、書き直す。 |

|  |
| --- |
| 交流＜生活科＞〇１年生におもちゃの作り方を説明する。 |

５　研究主題に迫るための手だて

（１）単元について

　　　本教材は前単元『しかけカードの作り方』で学習した「分かりやすく説明するための表現」を活用し、おもちゃの作り方の説明書を作成する単元である。生活科でおもちゃを作り、一年生に作り方を紹介するという相手意識・目的意識をもつことで、分かりやすく書くことへの意欲を高められる。第一次では「傘袋ロケット」の説明書を書き、学習したことを活用して第二次で紹介したいおもちゃの説明書を書く。読む人に「手順」が伝わるよう、視点を定めて指導したい。

（２）授業づくりの手だて

○意欲を高める（主体的な学び）

　　　・一年生におもちゃの作り方を伝えるという学習活動を設定する。

　　　・知識・技能をスモールステップで習得させることによって、自信をもてるようにする。

　　○思考を深める（深い学び）

　　　・友達と交流することで、友達の表現のよさを見つけられるようにする。

　　　・絵と照応させることで、文のまとまりやつながりを意識させる。

　　○知識・技能の習得（確かな学び）

　　　・一単元の中に、習得・活用のサイクルを組み込むことで、より確実に技能を身に付けさせる。

６　本時について

（１）本時の目標

内容のまとまりを考え、手順に沿って書いている。

（２）本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動 | ◇指導上の留意点　☆評価　◎研究主題に迫るための手だて |
| 〇前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。○分かりやすい説明の仕方の工夫を確認する。○①②の工程をみんなで確認する。○①をみんなで考えながら書く。○②をそれぞれで書く。　・写真を参考にして書く。　・自分の書いた文を見直し、誤字等を直す。○友達と書いたものを見合い、書き方の工夫を見つける。 | ＜めあて＞　「せつめいのひけつ」を使って、傘袋ロケットの説明書を書こう。◇前単元でまとめたものを掲示し、想起させる。◇みんなの意見を取り入れ、工程メモを作成する。◇みんなの意見を取り入れながら、①のモデル文を完成させる。◎工程メモと写真を参考にして、書かせる。【思】☆手順に沿ってわかりやすい説明の工夫を入れて書くことができる。◇２人組で読み合い、友達の良さに気付かせる。 |